
案外、町って脆いもんなんですよ？

夢六

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

案外、町って脆いもんなんですよ？

【Nコード】

N8389Y

【作者名】

夢六

【あらすじ】

とある世界のとある国のとある町のとある少年は歩いていました。特に目的もなくダルそうにグデーと歩いていました。ふと、腹が減った少年はコンビニに行きました。そこから始まるのは武勇伝？伝説？シリアス？ラブコメ？いいえ、これはとても平和な物語。

(前書き)

初投稿です。

お手柔らかにお願いします。

住宅街を歩く少年がいました。

彼の名前は…わかりません。

彼は歩きます。

「腹減った」

腹が減ったそうです。

彼はコンビニへ行きました。

しかしそのコンビニは強盗の真つ最中でした。

「金を出せ！」

強盗が叫びます。

しかし彼は気にせずおにぎりをレジへおきます。

「ああ？てめえ誰だ？殺s」

「これください」

彼は足で床を踏みつけ割ります。

すると強盗はおびえます。

彼はお金をレジに置き人質にされている店員からレシートを受け取るとポケットにねじ込みその場を後にしようとしています。

強盗の前にGが現れました。

強盗は踏みつけました。

チュドーンッ

コンビニは潰れました。

彼の拳によって。

「五寸の虫にもなんとやら」

なんとやらだそうです。

人の命は良いんでしょうか？

あつ強盗も店員も生きてました。

その後も彼は

「喧嘩するな」

チユドオオオンッ

「盗みはいけんよ」

ズドドドドッ

「お一人様三つまでだ」

チユツドオオオオオンッ！

「いや、そこはダウトだろ」

ドツガアアアアアンッ！！！！

何やかんやで全壊した町。

その中で彼はボソリと言葉をこぼす。

「今日も平和な一日だったな」

これはとある少年の平和な物語。

(後書き)

初めまして！夢六ですw

初投稿の『案外、町って脆いもんなんですよ？』は如何だったでしょうか？

コメディー感や平和感的な感じが出ていたでしょうか？

もし面白いと思われたのなら幸いです。

さてここで余談ですが私は長期連載がしたかったんです。

でもサブタイトルが入力できずできませんでしたw

なので我慢しきれずに短編を出しちゃいましたw

サブタイトルの問題が解決でき次第長期連載をしたいのですがそれまで我慢出来ないのもこれから短編を書き続けます。

もし長期連載が出来たらそちらの方もよろしくお願いします。

そして最後にここまで読んでくださってありがとうございますm)

ー) m

感想どしどし待ってます。

それではまたw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8389y/>

案外、町って脆いもんなんですよ？

2011年11月24日23時54分発行